

# 福島県立医科大学々報

## 目 次

○ 学 事	-----	
平成29年4月5日入学式学長式辞	.....	2
平成29年度入学者数	.....	3
平成29年度医学博士授与者（前期）	.....	3
○ 人 事	-----	
新任教授等・新任准教授等・新任講師等	.....	3
新任あいさつ	.....	4
• 理事長兼学長	竹之下誠一	
• 理事（教育・研究担当）兼副学長	安村 誠司	
• 理事（地域医療・新学部担当）兼副学長	紺野 慎一	
• 理事（経営担当）兼評価室長	菊地 健一	
• 薬理学講座	主任教授 下村 健寿	
• 救急医療学講座	主任教授 伊関 憲	
• 輸血・移植免疫学講座	主任教授 池田 和彦	
• 呼吸器内科学講座	主任教授 柴田 陽光	
• 形成外科学講座	主任教授 小山 明彦	
○ 諸 規 程 改 正	-----	
平成29年4月から平成30年1月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係	.....	8
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	-----	
役員会	.....	12
経営審議会	.....	12
教育研究審議会	.....	12
医学部教授会	.....	12
看護学部教授会	.....	13
○ 雑 報	-----	
平成29年度設置の寄附講座について	.....	13

## 学 事

### ■ 平成29年4月5日 福島県立医科大学 入学式

#### 学長式辞

福島県立医科大学 学長 竹之下 誠 一

本日ここに、福島県知事様、福島県議会議長様のご臨席と保護者の皆様のご列席のもと、平成29年度福島県立医科大学入学式を挙げてまいりますことは、本学にとってこの上ない喜びであります。

ただいま入学を許可された医学部130名、看護学部84名、大学院医学研究科51名、看護学研究科10名の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

君たちは、医学・看護を中心に医療のプロフェッショナルになるという高い志を実現するために、この福島県立医科大学を選び、今日、ここに集いました。

君たちの志は150年前、他県に先駆け近代西洋医学の導入を目指し、この地に本学の前身である須賀川医学校を設立した先人たちの「崇高なる志」を受け継ぐものです。

ご存知のように、2011年の東日本大震災、原発事故以降、本学は、他の医学部や医科大学の使命である「教育」「研究」「診療」に加え、新たな歴史的使命を負うことになりました。それは将来にわたり継続して県民の健康を見守ること、そして、この災害とその対応のすべてを記録し、学び、次の世代へ伝えていくことです。

すなわち、本学は、不安を抱える県民・国民を支え、この災害と惨禍に対して最前線に立ち続けることを運命づけられた大学と言えるでしょう。

今、私たちが直面しているこの試練は、「過去に例がない」とよく表現されます。しかし、福島の地は過去にも未曾有の災害や惨禍を不屈の精神で乗り越えてきた歴史があります。

さきほども述べましたが、戊辰戦争の戦火の中、傷ついた兵士の治療にあたった医療者たちが、国内でもいち早く、この地に西洋近代医学を導入しました。当時の医術教育機関であった須賀川医学校が本学の前身となったのです。そして、そこで学んだ第1期生のなかには、関東大震災後、壊滅した街の復興を推し進め、現在の東京の礎を作った復興院総裁 後藤新平がいます。さらに1888年（明治21年）の磐梯山大噴火という自然災害に対しても、創立当時の日本赤十字社いわゆる日赤と福島の医療者は協同で敢然と復興に立ち向かいました。

本学の先達は、壮絶な歴史の中で、当時の先端医療を駆使し、災害救護に当たり、街の復興に力を尽くしてきた経験を持っていました。激動の世相の中でも医療の充実と発

展に貢献し、優れた医療人の育成、医学の進歩・発展に努めてきたのです。

このように福島と本学の歴史を振り返るとき、本学の先達が目の前の状況を的確に把握し、いかなる過酷な状況に対しても決して折れることのない「しなやかさ」をもって対応していたことが分かります。そうすることで医療者としての知識を得、思考を深めると同時に、人間としての幅を広げていったのです。そして、このことこそ、私たち福島県立医科大学が、世界に誇れる先達から受け継がれてきたDNA すなわちレジリエンスです。困難な状況にしなやかに適応して未来を切り開く力です。

レジリエンス（「困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生き延びる力」）

レジリエンスの根幹は「しなやかさ」です。これから皆さんは、この学び舎で、それぞれの分野でプロフェッショナルになるための厳しい修業に入ります。君たちを暖かく指導してくれる先輩から常にいわれる言葉があります。それは、「修行とは矛盾に耐えること」です。そして、医療は、まさにその最前線です。皆さんが医療の現場で向かい合う相手は、その方になんの落ち度もないのに、病に苦悩している人たちばかりです。我々医療者は当然、全力を尽くして診療にあたります。しかし、病める方々は、直接の担当者である我々に、様々な不平・不満をぶつけてきます。なぜなら我々しかいないのです。理不尽に感じるかもしれませんが、これが現実です。この不条理と矛盾に満ちている現場において、知識や技術の習得は、医療者の最低限の条件でしかありません。人を思いやる心に満ち、かつ信頼されるだけの良識や人間的な力が必須となります。この不条理と矛盾に満ちている医療の現場でプロを目指す皆さんは、何度も失敗や挫折を経験するでしょう。しかし、精神科医の齋藤茂太先生曰く、「人生に失敗がなければ、人生を失敗します」。これらの試練を、鍛錬の機会ととらえ、本学のDNAである不屈のレジリエンスの精神で、しなやかに対応してください。

先月、震災直後に、本学に入学してきた110名以上の方が、卒業しました。すなわち、震災後満6年が経過したのです。この間、県や国の支援の下、本学には多くの施設や優秀な人材が集う組織が整えられました。震災前の教職員は約1,900名でしたが、現在3,000名を超えました。誰もが高い志を抱いて、この復興の最前線の医大へ結集しました。これは、本学が様々な面において、「可能性の塊」となったといっても過言ではありません。整備されたこれらの施設や組織を駆使し、最大の成果をあげることを目標とし、我々は、新たな未来の開拓に、不屈の精神でチャレンジする次のステージに入ります。

皆さんも、志をもって、福島へ集まっていただきました。医大の誇るレジリエンスを武器に、その志を実現してください。君たちは我々の希望です。夢や希望を実現しその実績を持って、県や国はもとより、世界でも活躍してください

い。これが、「福島県立医科大学で学ぶ者、ひとりひとりの使命と心得ること」を伝え、入学式式辞と致します。諸君の健闘を祈ります。

### ■ 平成29年度福島県立医科大学入学者数

#### ① 医学部新入生130名

	男	女	計
県内	31名	11名	42名
県外	57名	31名	88名
計	88名	42名	130名

#### ② 看護学部新入生84名

	男	女	計
県内	6名	56名	62名
県外	3名	19名	22名
計	9名	75名	84名

#### ③ 大学院新入生77名

	男	女	計
医学研究科(博士)	34名	15名	49名
医学研究科(修士)	7名	3名	10名
医学研究科(共同・修士)	5名	3名	8名
看護学研究科(修士)	0名	10名	10名
計	46名	31名	77名

### ■ 平成29年度医学博士授与者(前期)

氏名	学位	論文名
中島 隆宏	Augmentation of Antibody-Dependent Cellular Cytotoxicity with defucosylated mAbs in patients with GI-tract cancer. (消化管癌患者における脱フコシル化抗体を用いた ADCC 活性の解析)	
助川 真純	The BCR/ABL tyrosine kinase inhibitor, nilotinib, stimulates expression of IL-1 $\beta$ in vascular endothelium in association with downregulation of miR-3121-3p. (BCR/ABL チロシンキナーゼインヒビターであるニロチニブは、miR-3121-3p の発現減弱を介して血管内皮細胞での IL-1 $\beta$ の発現を亢進する)	
尾形 絵美	Fasting glucose levels and the risk of type 2 diabetes mellitus in participants with or	

without cardiovascular diseases. (心血管疾患既往の有無でみた空腹時血糖レベルと2型糖尿病発症リスク)

村上 友太 特発性低髄液圧症候群の髄液中診断バイオマーカー

森 龍彦 Involvement of autophagy-lysosomal degradation in systemic sclerosis. (全身性強皮症におけるオートファジー・リソソーム分解の関与)

Eka Carrageenan cytotoxic effects in human cells. (海藻由来硫酸化多糖類カラギーナンの細胞傷害効果)

Prasedya Serum cytokine concentrations, chorioamnionitis and the onset of bronchopulmonary dysplasia in premature infants. (早期産児における血清サイトカイン濃度および絨毛膜羊膜炎と気管支肺異形成症の発症について)

金子 真利 Individual external dose monitoring of all citizens of Date City by passive dosimeter 5 to 51 months after the Fukushima NPP accident (series): 1. Comparison of individual dose with ambient dose rate monitored by aircraft surveys. (福島第一原子力発電所事故後5~51ヵ月にわたる個人線量計を用いた伊達市民の個人線量モニタリング: 1. 航空機モニタリング調査で測定された空間線量率と個人線量との比較)

宮崎 真 Comprehensive technical and patient-care optimization in the management of pediatric apheresis for peripheral blood stem cell harvesting. (末梢血幹細胞採取を目的とした小児アフエレーシス法の総合的最適化及び安全性における検討)

大原 喜裕

## 人 事

(平成30年1月31日現在)

#### ◎新任教授等

採用 29.4.1	外傷学講座	教授	竹中 信之
採用 29.4.1	先端癌免疫治療研究講座	教授	大戸 斉
採用 29.4.1	プログレッシブ DOHaD 研究講座	教授	志村 龍男
採用 29.4.1	薬理学講座	教授	下村 健寿
採用 29.4.1	救急医療学講座	教授	伊関 憲
採用 29.4.1	スポーツ医学講座	教授	沼崎 広法
採用 29.4.1	神経再生医療学講座	教授	菱田 良平

採用 29.4.1	低侵襲腫瘍制御学講座	教授	本多 通孝	採用 29.4.1	消化管外科学講座	講師	齋藤 元伸
採用 29.4.1	新医療系学部設置準備室	教授	豊川 真弘	採用 29.4.1	呼吸器外科学講座	講師	塩 豊
採用 29.4.1	新医療系学部設置準備室	教授	伊橋 光二	採用 29.4.1	周産期・小児地域医療支援講座		
採用 29.4.1	甲状腺・内分泌センター					講師	安田 俊
		特命教授	横谷 進	採用 29.4.1	医療人育成・支援センター	講師	坂本 信雄
採用 29.4.1	会津医療センター	医監	棟方 充	採用 29.4.1	医療安全管理部	講師	大内 一夫
採用 29.4.1	(会)総合内科学講座	医監	鈴木 啓二	採用 29.4.1	脳疾患センター	講師	阿部 十也
採用 29.4.1	(会)漢方医学講座	医監	三瀧 忠道	採用 29.4.1	(会)漢方医学講座	科長	齋藤 龍史
昇任 29.4.1	附属実験動物研究施設	教授	関口 美穂	採用 29.4.1	(会)消化器内科学講座	科長	阿部 洋子
昇任 29.4.1	看護師特定行為研修センター			昇任 29.4.1	腎臓高血圧内科学講座	講師	田中 健一
		教授	見城 明	昇任 29.4.1	糖尿病内分泌代謝内科学講座		
昇任 29.4.1	性差医療センター	教授	小宮ひろみ			講師	待井 典剛
採用 29.5.1	プログレッシブDOHaD研究講座			昇任 29.4.1	神経内科学講座	講師	小林 俊輔
		特命教授	吉井 淳治	昇任 29.4.1	乳腺外科学講座	講師	阿部 宣子
採用 29.7.1	放射線医学県民健康管理センター			昇任 29.4.1	感染制御医学講座	講師	仲村 究
		特命教授	宮田 美和	昇任 29.4.1	総合科学教育研究センター	講師	谷口 暢一
採用 29.10.1	地域救急医療支援講座	教授	小野寺 誠	昇任 29.4.1	小児外科	講師	山下 方俊
採用 29.10.1	新医療系学部設置準備室	教授	川口しのぶ	昇任 29.4.1	集中治療部	講師	箱崎 貴大
昇任 29.10.1	輸血・移植免疫学講座	教授	池田 和彦	昇任 29.4.1	総合周産期母子医療センター		
昇任 29.10.1	ふたば救急総合医療支援センター					講師	山口 明子
		教授	島田 二郎	昇任 29.5.1	消化器内科学講座	講師	阿部 和道
採用 29.10.1	生命科学部門	教授	太田昌一郎	昇任 29.5.1	整形外科講座	講師	川上 亮一
採用 29.12.1	呼吸器内科学講座	教授	柴田 陽光	採用 29.9.1	臨床腫瘍センター	講師	権田 憲士
採用 29.12.1	形成外科学講座	教授	小山 明彦	昇任 29.10.1	薬理学講座	講師	三坂 眞元
昇任 30.2.1	心臓病先進治療学講座	教授	義久 精臣	昇任 29.10.1	循環器内科学講座	講師	八巻 尚洋
採用 29.4.1	災害医療支援講座	准教授	澁佐 隆	採用 30.1.1	ふくしま子ども・女性医療支援センター		
採用 29.4.1	プログレッシブDOHaD研究講座					講師	太田 邦明
		准教授	三村 耕作				
採用 29.4.1	疫学講座	准教授	坪井 聡				
採用 29.4.1	医療エレクトロニクス研究講座						
		准教授	水田 裕子				
採用 29.4.1	ふたば救急総合医療支援センター						
		准教授	箱崎 道之				
採用 29.4.1	脳疾患センター	准教授	小島 隆生				
採用 29.4.1	新医療系学部設置準備室	准教授	五百川和明				
昇任 29.4.1	消化器内科学講座	准教授	高橋 敦史				
昇任 29.4.1	腎臓高血圧内科学講座	准教授	林 義満				
昇任 29.5.1	血液内科学講座	准教授	大河原 浩				
採用 29.7.1	不整脈病態制御医学講座	准教授	金城 貴士				
採用 29.7.1	医療情報部	准教授	鈴木 均				
採用 29.7.1	健康増進センター	准教授	馬 恩博				
昇任 29.7.1	医療安全管理部	准教授	大内 一夫				
採用 29.10.1	先端臨床研究センター	准教授	鷲山 幸信				
昇任 29.10.1	循環器内科学講座	准教授	中里 和彦				
採用 29.10.1	療養支援看護学部	准教授	菅野 久美				
採用 30.2.1	新医療系学部設置準備室	准教授	福田 篤志				
採用 29.4.1	外傷学講座	講師	浅原 智彦				

◎新任准教授等

採用 29.4.1	災害医療支援講座	准教授	澁佐 隆
採用 29.4.1	プログレッシブDOHaD研究講座	准教授	三村 耕作
採用 29.4.1	疫学講座	准教授	坪井 聡
採用 29.4.1	医療エレクトロニクス研究講座	准教授	水田 裕子
採用 29.4.1	ふたば救急総合医療支援センター	准教授	箱崎 道之
採用 29.4.1	脳疾患センター	准教授	小島 隆生
採用 29.4.1	新医療系学部設置準備室	准教授	五百川和明
昇任 29.4.1	消化器内科学講座	准教授	高橋 敦史
昇任 29.4.1	腎臓高血圧内科学講座	准教授	林 義満
昇任 29.5.1	血液内科学講座	准教授	大河原 浩
採用 29.7.1	不整脈病態制御医学講座	准教授	金城 貴士
採用 29.7.1	医療情報部	准教授	鈴木 均
採用 29.7.1	健康増進センター	准教授	馬 恩博
昇任 29.7.1	医療安全管理部	准教授	大内 一夫
採用 29.10.1	先端臨床研究センター	准教授	鷲山 幸信
昇任 29.10.1	循環器内科学講座	准教授	中里 和彦
採用 29.10.1	療養支援看護学部	准教授	菅野 久美
採用 30.2.1	新医療系学部設置準備室	准教授	福田 篤志

◎新任講師等

採用 29.4.1	外傷学講座	講師	浅原 智彦
-----------	-------	----	-------

■ 新任あいさつ



理事長兼学長就任御挨拶

理事長兼学長

竹之下 誠 一

2017年4月より理事長兼学長に就任し、最初の1年が過ぎようとしています。就任当初より、本学は復興に向けた取り組みの結果や成果を出す段階に入ったことを強調してきました。これは私たちの使命であり、県民、国民、世界中から大きな期待を持って注目されています。本学は、県や国などの多大な支援のもとで、最先端の設備と優秀な人材を擁し、復興活動の礎を整備してきた経緯があります。これからはこれらの人材、設備を駆使して、これまででない新たな結果や成果を社会に示すことが必然的に求められているのです。

幸いにして、私たちはこれまで自らの使命としていた課題に対して少しずつ解決への道筋を見出してきました。しかし、一つの成果は、さらにより良い成果を得るために複数の課題を生み出すのが常であり、新たな成果への模索にゴールはありません。

再三申し上げていますが、本学は誰も経験したことのない、歴史的使命を担っています。前例のない環境においては、課題解決のために倣うべき前例などなく、前例のない発想が求められます。当たり前としてきたことを洗い直し、常識としてきたことを疑う。それは決して簡単な事ではありません。だからこそ私たちは問題意識を互いに共有し、アイデアを集積し、しなやかな発想で解決策を見出さなければなりません。前例がないのであれば良き前例を作らなく、大胆に決断し、失敗を恐れず果敢に前に進みましょう。



### 理事(教育・研究担当)兼 副学長(学務担当) 就任御挨拶

理事(教育・研究担当)兼副学長(学務担当)

安村 誠司

平成29年4月から、理事(教育・研究担当)兼副学長(学務担当)を拝命致しました。従って、すでに就任から10カ月以上経過してからの御挨拶ということになってしまいました。

この間、本学においてはさまざまな展開がありました。医学部では入学試験の見直しを行い、平成32年度以降の後期入試を廃止することを決定しました。また、医師国家試験合格につなげる学力の底上げを目的として、5年生に進級試験を導入しました。看護学部では、学部・大学院の組織運営のあり方の見直しを、全教員により討議し、10年後の看護学部のあり方を示した「看護学部ビジョン」を策定しました。さらに、大学院看護学研究科博士課程の設置に向けた具体的な検討を進めています。

研究面においては、科学研究費補助金の取得件数は毎年増加傾向にあります。今後も件数の増加、大型研究費の取得に向けて、全学で取り組んでいます。英文論文の発表も増加傾向にあります。引き続き、福島県立医科大学からの情報発信を拡大させていきたいと考えています。

本年度から開始した看護師特定行為研修は、24名の参加者は無事に修了予定で、今後、現場での活躍が大いに期待されています。来年度はより参加者を拡大していく予定ですが、まだ、制度の周知が十分でないこともあり、今後、広報啓発に力を入れていきます。

今後とも本学の教育・研究のさらなる充実・発展を図っていく所存です。皆様の引き続きの御支援御鞭撻をお願い申し上げます。



### 理事(地域医療・新学部担当)兼 副学長(地域医療担当) 就任御挨拶

理事(地域医療・新学部担当)兼  
副学長(地域医療担当)

紺野 慎一

地域医療・新学部担当理事兼副学長に就任させていただきました紺野です。地域医療は会津医療センターを核とした地域医療支援構想を実現したいと考えています。すなわち、会津医療センターの医師確保・専門医研修・へき地診療所や県立南会津病院への人材供給・会津医療センターでの先進医療を実現すべく、医大との連携を密にして南会津・奥会津で活躍できる医師の育成を目指します。さらに、新専門医制度に対応した自治医大卒業医師と修学資金非対応医師の派遣を行っていく必要があると考えています。そして自治医大卒業生と本学卒業生の県内定着率を上昇させなければなりません。特に、福島県内の医師数は全国平均と比べると極めて少なく、特に女性医師の割合は全国最低です。医師を増やす取組は、今まで県と協力しながら臨床研究イノベーションセンターの開設、災害医療支援講座を始めとする様々な寄附講座など多くの試みが行われてきました。相双地区における寄附講座を中心とした医療実績は地味ではありますが大きな成果を挙げつつあります。さらに、地域医療支援助手による地域医療の実践により、福島県内の医療レベルは確実に上昇しています。私の役割は地域医療のさらなる充実を果たすことであると認識しています。

次に、新医療系学部は、県内における質の高い保険医療従事者、特に理学療法士、作業療法士、診療放射線技師および臨床検査技師の養成と安定的確保を目的に本学では2016年4月に新医療系設置準備室が設置されました。福島県の高度な知識技術を備えたプロフェッショナルな人材、チーム医療の一翼を担う医療人材、地域に根ざし、地域医療を支えることのできる医療人材の育成という基本構想を踏まえ、2016年11月より新医療系学部設置準備委員会で計画の具体的検討を進めてきました。その結果、平成30年1月に新医療系学部の設置について(中間まとめ)を公表することができました。今後、県内の高校、福島県立医科大学、県内医療機関等の接続を円滑に行うことができるよう行動していきたいと思っております。



## 理事（経営担当）兼 評価室長就任御挨拶

理事（経営担当）兼評価室長

菊地 健一

平成29年4月1日付けで経営担当理事兼評価室長を拝命致しました菊地健一と申します。

本学は東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故により、本来の使命である「教育」・「研究」・「診療」に加え、歴史的使命である「県民の健康の長期見守りと健康長寿の実現」を担うこととなり、その存在意義は益々高まるばかりです。

ふくしま国際医療科学センターの稼動に代表される福島の復興へ向けての様々な取組により、本学を取り巻く環境や経営状況は大きく変化しております。将来にわたり県民の皆さまの期待に応え、本学の使命を果たしていくためにも、より効率的で安定した経営が求められます。

財務体質や業務運営の改善は喫緊の課題です。経営担当理事として、甚だ微力ですが民間企業での経験を活かし力を尽す所存です。課題の解決に当たりましては、虚心坦懐に皆さまの意見を拝聴し、速やかに合意形成を図り「実践」することが肝要であると考えます。前例にとらわれない柔軟で大胆な発想とスピード感をもって愚直に取り組んで参ります。

高い志をもった皆さまと共に働ける喜びを感じつつ気持ちをひとつにし、本学の発展と福島の復興へ少しでも貢献できるよう精進致します。皆さまの御指導御協力何卒宜しくお願い申し上げます。



## 主任教授就任御挨拶

薬理学講座 主任教授

下村 健寿

この度、薬理学講座の主任教授に着任いたしました。福島医大卒業から20年になりますが、教授として再び母校に戻れたことを心から嬉しく、身が引き締まる思いです。

私は基礎医学研究者ではありますが、卒業後は群馬大学の第一内科に所属し一般内科医としてスタートしました。群馬大学を辞めた後、英国オックスフォード大学で基礎研究者としてのキャリアをスタートし8年間、英国で研究をしてまいりました。その後、自治医科大学を經まして今回の薬理学講座の教授を務めさせていただくこととなりました。

専門は電気生理学です。電気生理学に関しまして医学部の在学中（3年生）のときからかつて福島医大生理学講座の准教授を務めておられた松本茂二先生（その後、日本歯科大学生理学講座主任教授）に御指導いただいたのがきっかけとなっております。まさに今日の私は福島医大に築いていただいたと言っても過言ではありません。これからは福島から世界に発信できる研究を目指して頑張りたいと思っております。

卒業以来、群馬大学、伊勢崎市民病院、オックスフォード大学、自治医科大学と様々な場所を経験いたしました。何より暖かく迎えていただいたのは母校の福島県立医科大学です。これからは微力ながら福島医大にご恩返しができますように全力で頑張る所存です。これからも御指導御鞭撻の程、何卒宜しくお願いいたします。



## 主任教授就任御挨拶

救急医療学講座 主任教授

伊 関 憲

平成29年4月1日付けで、救急医療学講座主任教授、高度救命救急センター部長を拝命いたしました。救急医療学講座は前任の田勢長一郎先生が設立されたのが東日本大震災の直前でした。救急医学だけではなく、災害医療・放射線災害など幅広い医療を行うことで、全国から注目を集めている講座となりました。この栄えある講座の主任教授を担当することを光栄に存じますし、身が引き締まる思いでもあります。

救急医学は最も古くからある医学であり、一方で比較的新しい分野の学問でもあります。もともと救急医療とは、全ての医師が行う医療でありました。しかし、救急車の搬送患者数の増加、医療の専門性、医療訴訟などが原因で、救急医療が再評価され、救急医学という学問が再認識されました。

救急医学については、標準化教育と専門領域の確立という二つが挙げられます。救急の標準化教育とは、EBMに基づいた日本だけではなく世界中で共通した治療手順が行われることにあります。心肺蘇生法、外傷初期治療などでこの標準化教育が行われており、救命率の向上が見込まれています。この教育を初期研修医や医学生に行い、県内の救急医療の底上げを図りたいと思います。

救急医療から引き続いた重症患者管理では、敗血症性ショックやDIC（播種性血管内凝固）などの専門的知識が必要になります。また急性中毒や災害医療など特殊領域にも精通する必要があります。この救急医学における重症患者管理については世界中で情報発信されており、より効

果的な治療法を福島県において実践していきます。

福島県にはまだまだ救急医が不足している状態です。救急医学について魅力的な教育を行い、救急医を増加させます。そして世界水準の福島県の救急医療を作り上げていきますので、よろしくお願い申し上げます。



### 主任教授就任御挨拶

輸血・移植免疫学講座 主任教授

池田和彦

このたび、輸血・移植免疫学講座教授を拝命致しました。前任の大戸斉名誉教授が昭和62年に輸血部として開設され、当院、福島県、そして世界の輸血、移植、細胞治療に学術面・臨床面で多大な貢献をしてきた講座を担当させていただくにあたり、身の引き締まる思いです。

私たちは、輸血や移植（造血幹細胞移植、臓器移植）、細胞や血液成分を用いた細胞治療を、各診療科で安全かつ効果的に行うことができるよう、医師・看護師・検査技師のチームで検査や治療に用いる細胞の管理などを担当して、様々な先進医療や手術などを下支えています。血液型やHLA（ヒト白血球抗原）、赤血球や血小板に対する抗体などの検査、血液製剤の手配、保管、供給を行っています。また、自己血貯血や末梢血幹細胞採取など、治療に用いる細胞の採取や保存・管理を行っています。最近では、手術中の止血に役立つ自己フィブリン糊の合成も開始しております。産科や救急における大量出血には超緊急輸血、赤血球や血小板の抗体陽性者については適合した血液製剤の手配や準備、さらに、再生医療製剤の管理・調整も開始致しました。

当院および福島県における安全で適正な輸血療法を推進し、移植医療の進歩や新たな細胞治療の発展に貢献していくことが出来るよう励んでいく所存でございます。今後とも皆様の御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 主任教授就任御挨拶

呼吸器内科学講座 主任教授

柴田陽光

2017年12月1日付で呼吸器内科学講座教授を拝命いたしました。

私は平成3年3月に山形大学を卒業し、山形大学第一内科という、循環・呼吸・腎臓原病を扱う内科に入局いたしました。そこでは、呼吸器疾患だけではなく、循環器疾患や腎臓疾患と接する機会が多く、そういった環境から呼吸器内科という一つの視点からだけでなく、循環器科的また腎臓内科的な広い視点から患者を診療する訓練を受けることができたと思います。そして、平成22年からは、山形大学医学部附属病院より病院教授を拝命いたしまして、山形県の呼吸器診療に尽くして参りました。

呼吸器内科は肺炎、肺癌、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）といった感染症、悪性腫瘍、アレルギー、生活習慣病といった多彩な領域を扱う診療分野であります。その点で呼吸器は学問的に非常に魅力的な臓器であり、診療的には患者数も多く、また死亡数も多い重要な領域であるといえます。しかしながら全国的に呼吸器内科専門医は不足状態であり、呼吸器内科の未来を支えてくれる人材育成が急務であると考えております。

ここ福島では、私のこれまでの診療経験を活かし、また皆様の御助力をいただき呼吸器内科的な視点だけではなく広い視点から患者を診察できる医師を育成していきたいと考えております。また同時に、それを支えるエキスパートナースや薬剤師も育成してゆく所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。



### 主任教授就任御挨拶

形成外科学講座 主任教授

小山明彦

平成29年12月1日付けで、形成外科学講座主任教授に着任いたしました。初代上田和毅教授により築かれた本講座を引き継ぐこととなり、大変身の引き締まる思いです。

私は福島県立安積高校を卒業し、昭和60年（1985年）に福島県立医科大学に入学いたしました。在学当時、本学にはまだ形成外科学講座は開講されておりませんでした。北海道大学形成外科の大浦武彦初代教授、杉原平樹助教授（のちの2代目教授）の特別講義を受ける機会に恵まれ、形成外科に魅了されてしまいました。そして卒業後、北海道大学形成外科教室の門を叩きました。そして形成外科を幅広く学ぶとともに、頭蓋顎顔面外科を専門領域として、診療・研究に従事してまいりました。この度、再び母校に暖かく迎え入れていただき、故郷福島の医療に貢献する機会を与えていただいたこと、喜びの極みであります。

形成外科は様々な形態異常を対象として、目覚ましい技術革新と応用によってその解決に挑み、進歩・発展してきた比較的新しい診療領域です。独自の技術を提供したり、

他診療科との橋渡しの役割を果たすなど、チーム医療で新たな医学・医療の発展に寄与する重要な役目を担っていると考えています。そのために、想像力豊かで、向上心に溢れ、技術の高みを目指すプロフェッショナルリズムをもった外科医の育成に全身全霊を傾けて参ります。

皆様の御協力、そして御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 諸規程改正

### ■ 平成29年4月から平成30年1月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係

- 「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
組織改正に伴い、「産学官連携推進本部」及び「知的財産管理オフィス」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学准職員及び非常勤職員給与規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
通勤手当(自動車、自動車以外の原動機付き交通用具)の手当日額が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学が保有する公文書の開示等に関する規程」の一部改正について  
(平成24年12月1日制定・平成29年4月1日施行)  
公文書の開示決定通知書に教示文が追加されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学が取り扱う個人情報等の保護に関する規程」の一部改正について  
(平成24年12月1日制定・平成29年4月1日施行)  
事故情報開示決定通知書に教示文が追加されました。
- 「福島県立医科大学授業料等の免除等に関する細則」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
留学生の入学検定料及び入学料免除等が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学地域医療支援本部要綱」の一部改正について  
(平成24年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
担当理事の名称が変更となったため本部の組織について改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学託児所運営要綱」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
託児所の保育所定員が85名から90名に変更されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学役員報酬規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
常勤の役員に支給する基本月給の算定割合等が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学医療研究推進戦略本部要綱」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
担当理事の名称変更により要綱が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学外部資金管理委員会要綱」の制定について  
(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
医療研究推進戦略本部と外部資金管理委員会の新規設置による組織及び運営について担当理事の名称変更により要綱が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学医療研究推進センター規程」の一部改正について  
(平成28年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
各部門の担当業務等が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職務発明者審査会要綱」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
審査会の議事が、出席委員全員の合意をもって決するものから、出席委員の過半数の合意をもって決するもの等、規程が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学立替事務取扱要綱」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
経理責任者が特に認める場合には、立替払いを行うことが出来るものについて、要綱が改正されました。
- 「福島県立医科大学附属病院規程要綱」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
平成29年度4月1日付けの組織改編に伴い、規程が改正されました。
- 「福島県立医科大学総合科学系教員体制等検討委員会規程」の一部改正について  
(平成23年8月1日制定・平成29年4月1日施行)  
福島県立医科大学総合科学系教員体制等検討委員会が所掌する、講座等の所掌事務が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
附属病院の自由診療に関する諸料金等が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター運営本部要綱」一部改正について  
(平成24年11月20日制定・平成29年4月1日施行)  
整備運営本部の名称を運営本部に変更するなど改正さ



れました。

○「公立大学法人福島県立医科大学評価室要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
担当役員の変更について改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
扶養手当支給対象等が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学看護師特定行為研修センター設置規定」の制定について

(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
特定行為研修センターの設置並びに組織及び運営について、必要事項が制定されました。

○「福島県立医科大学看護師特定行為研修センター規程」の制定について

(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
特定行為を手順書により行うための能力を有する看護師を養成するために、必要事項が制定されました。

○「福島県立医科大学看護師特定行為研修履修規程」の制定について

(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
看護師特定行為研修における研修科目の履修及び成績評価等に関し、必要事項が制定されました。

○「福島県立医科大学研修生（看護師特定行為研修）規程」の制定について

(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
看護師特定行為研修生に関する、必要事項が制定されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター規程」の制定について

(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターに、必要事項が制定されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学大学発ベンチャーの称号授与に関する規則」の制定について

(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
「福島県立医科大学発ベンチャー」の称号を授与することに関し、必要事項が制定されました。

○「福島県立医科大学新医療系学部設置準備委員会設置要綱」の一部改正について

(平成28年7月28日制定・平成29年4月1日施行)  
専門部会の部会長代理の設置と、職務代理報告規定が追加される等が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト教員就業規則」の一部改正について

(平成20年3月31日制定・平成29年4月1日施行)  
組織改編による委員の職等が改正されました。

○「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターに関連する講座の主任教授適任者選考規程」の一部改正について

(平成27年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
組織改編による委員の職等が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学人事管理委員会規程」の一部改正について

(平成19年7月2日制定・平成29年4月1日施行)  
理事の担当が改正されました。

○「福島県立医科大学医療情報システム管理委員会設置要綱」の一部改正について

(平成21年8月20日制定・平成29年4月5日施行)  
委員会の開催要件として、必要な事項が定められました。

○「福島県立医科大学附属病院総合医療情報システム運用管理内規」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月5日施行)  
クリニカルパス推進委員会の承認を受けたパスを利用可能にする処理などが改正されました。

○「福島県立医科大学新医療系学部教員養成事業助成金交付要綱」の制定について

(平成29年4月17日制定・平成29年4月1日施行)  
新たに設置される新医療系学部に所属する教員を養成するために実施する助成金の交付に関し、必要な事項が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員懲戒要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
組織改正に伴い、懲戒審査会役員等の構成員が改正されました。

○「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
夜間等に教育を行う際の規程整備や履修科目が改正されました。

○「福島県立医科大学大学院医学研究科履修規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
医科学専攻の履修科目名が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院治験審査委員会規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)  
組織変更に伴い、委員構成が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院治験審査委員会規程」の一部改正について

(平成25年5月24日制定・平成29年4月1日施行)  
地域医療連携部から患者サポートセンターへ名称が変更されました。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○「福島県立医科大学附属病院連携登録医制度運用細則」の一部改正について<br/>(平成25年5月24日制定・平成29年4月1日施行)<br/>地域医療連携部から患者サポートセンターへ名称が変更された。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院地域連携推進委員会設置要綱」の一部改正について<br/>(平成21年4月1日制定・平成29年4月1日施行)<br/>組織改編に伴い、地域連携部長から患者サポートセンター部長へ変更されるなど改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学医学部教務委員会規程」の一部改正について<br/>(平成25年5月24日制定・平成29年4月1日施行)<br/>委員会に設置する部会が新設される等改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学放射性同位元素等安全管理委員会設置要綱」の制定について<br/>(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)<br/>大学における放射線同位元素等による障害の発生を防止し公共の安全を確保するために安全管理専門が設置されました。</li> <li>○「福島県立医科大学会津・光が丘連携会議要綱」の制定について<br/>(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)<br/>教育、研究及び診療に関し会津医療センターと福島市光が丘地内組織相互の連携・協力の緊密化に資することを目的に設置されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学における研究活動に係る不正行為への対応に関する要綱」の一部改正について<br/>(平成19年11月2日制定・平成29年4月1日施行)<br/>福島県立医科大学倫理規定委員会規程改正に伴い、必要な事項が定められました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学公的研究費の管理・運営体制に関する要綱」の一部改正について<br/>(平成19年11月2日制定・平成29年4月1日施行)<br/>組織変更に伴い、役職名の改正がされました。</li> <li>○「福島県立医科大学クリニカル・スキルラボ管理運営要綱」の一部改正について<br/>(平成21年4月27日制定・平成29年4月1日施行)<br/>新たにスキルラボ・きぼう棟が利用開始となったことに伴い、利用時間等が改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター業務分掌内規」の一部改正について<br/>(平成19年4月1日制定・平成29年4月1日施行)<br/>科の再編による関係科の独立にあわせて委員対象診療科が改正されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学研究支援事業実施要綱」の一部改正について<br/>(平成23年6月1日制定・平成29年5月1日施行)<br/>医療研究推進会議、産学官連携推進本部会議、地財オ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>フィス会議が統合されたことに伴い、必要な事項が定められました。</li> <li>○「医学部教員の海外出張に関する教授会申合せ」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成29年5月17日施行)<br/>科学研究費を獲得できないような若手の研究者を支援するため、必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学倫理委員会規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成29年4月1日施行)<br/>組織体制の変更に伴い、必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学における人を対象とする医学系研究に関する規程」の制定について<br/>(平成29年4月1日制定・平成29年4月1日施行)<br/>倫理委員会体制及び倫理指針の改正に伴い、倫理方針における必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院医療ガス安全管理委員会設置要綱」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成29年6月1日施行)<br/>副病院長を委員としての立場を明らかにするため、必要な事項が追加されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成29年6月1日施行)<br/>自由診療を行わないことにより、5件の諸料金項目が削除されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」の一部改正について<br/>(平成23年10月18日制定・平成29年6月1日施行)<br/>組織改正に伴い、必要な事項が定められました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成29年6月1日施行)<br/>附属病院が原子力災害拠点病院として福島県から指定されたことから、災害医療部の内部組織について、必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学新医療系学部設置準備室教員選考委員会規程」の一部改正について<br/>(平成28年7月20日制定・平成29年4月1日施行)<br/>理事の担当変更に伴い、必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成29年6月1日施行)<br/>災害医療部内部組織二次被ばく医療室を「原子力災害拠点センター」に名称が変更されました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院災害医療部運営委員会設置要綱」の一部改正について<br/>(平成29年3月23日制定・平成29年6月1日施行)<br/>部内組織である「二次被ばく医療室」が「原子力災害拠点センター」に改称されたことに伴い職名が変更され</li> </ul> |
|--|---|

ました。

○「福島県立医科大学附属病院災害医療部業務分掌内規」の一部改正について

(平成28年4月1日制定・平成29年6月1日施行)

部内組織である「二次被ばく医療室」が「原子力災害拠点センター」に改称されました。

○「福島県立医科大学大学院医学研究科の学位論文評価基準」の制定について

(平成28年6月27日制定・平成29年6月27日施行)

福島県立医科大学の学位論文の審査に関する評価基準が定められました。

○「福島県立医科大学附属病院臨床検査適正化委員会設置要綱」の一部改正について

(平成25年4月1日制定・平成29年4月1日施行)

委員会を組織する委員に検査部常勤医師が加えられました。

○「福島県立医科大学倫理委員会運営要綱」の制定について

(平成29年4月26日制定・平成29年4月26日施行)

福島県立医科大学倫理委員会規程の改正に伴い、委員会運営事項が整備されました。

○「福島県立医科大学医学部履修規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年6月27日施行)

講座再編による授業料科目変更に伴い卒業認定要件等が変更されました。

○「福島県立医科大学大学院研究生に係る授業料免除内規」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年7月1日施行)

免除申請が一講座に偏らないようにするため、免除対象が変更されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学病児病後児保育所運営要綱」の一部改正について

(平成23年4月18日制定・平成29年7月10日施行)

病児病後児保育所開所以来継続して実施している保育所利用状況統計作成のため、様式に職種欄が設けられました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院栄養管理委員会要綱」の一部改正について

(平成25年5月11日制定・平成29年7月11日施行)

委員会定員制が廃止され、定員は毎年度、院長の氏名により決定することになりました。

○「福島県立医科大学附属病院患者等相談等受付要領」の一部改正について

(平成17年5月18日制定・平成29年7月11日施行)

患者サービス向上として、患者相談受付窓口の相談受付時間が変更されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程」の一部改正について

(平成17年5月18日制定・平成29年4月1日施行)

技能労働職級料金適用者の経過措置など当法人の給与規程の一部が改正されました。

○「福島県立医科大学学生相談室運営要綱」の一部改正について

(平成28年6月29日制定・平成29年7月1日施行)

学生相談室の運営を教務委員会から学生部学生生活委員会に変更されました。

○「福島県立医科大学学生部学生生活委員会規程」の一部改正について

(平成28年6月29日制定・平成29年7月1日施行)

委員会内に設置した学生健康管理部会が廃止されました。

○「福島県立医科大学主任教授等選考管理委員会規程」の一部改正について

(平成27年2月25日制定・平成29年4月1日施行)

福島県立医科大学主任教授等選考委員会の設置等に関し、必要な事項の追加や改正が行われました。

○「福島県立医科大学看護学部履修規程に関する教授会申し合わせ」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年7月18日施行)

指定する科目の履修について、「履修していること」について基準が設けられました。

○「福島県立医科大学附属病院における再生医療等の提供に関する規程」の制定について

(平成29年8月8日制定・平成29年8月8日施行)

福島県立医科大学附属病院における再生医療等の規程に関し、必要な事項が定められました。

○「福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成29年8月10日施行)

病院治験審査委員会の成立要件等が改正されました。

○「福島県県民健康調査「健康診査」小児健康診査実施要領」の一部改正について

(平成28年6月28日制定・平成29年4月27日施行)

## 役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

### ■ 役員会

#### 【平成29年6月28日 第4回役員会】

##### ○大学機関別認証評価に係る自己評価書について

大学機関別認証評価を平成29年度に受審するにあたり、6月末までに評価機関に提出することになっている自己評価書について原案のとおり承認された。

##### ○医学部の後期日程試験廃止に伴う入学者選抜の変更について

平成32年度入学者選抜より、現在募集定員が23名となっている後期日程試験を廃止すること等について原案のとおり承認された。

#### 【平成29年8月30日 第6回役員会】

##### ○平成29年度第2回福島県公立大学法人評価委員会の結果について

8月10日に第2回福島県法人評価委員会が開催され、平成28年度業務実績評価及び第2期中期目標期間に係る暫定評価並びに財務諸表の承認に関する報告が行われた。

##### ○福島医薬品関連産業支援拠点化事業外部評価委員会結果について

7月27日に開催した福島医薬品関連産業支援拠点化事業外部評価委員会の結果についての報告が行われた。

#### 【平成29年12月27日 第9回役員会】

##### ○平成30年度予算編成方針について

平成30年度予算編成方針（案）について原案のとおり決定された。

### ■ 経営審議会

#### 【平成29年6月19日 平成29年度第1回経営審議会】

##### ○法人の年次決算（案）について

平成28年度の法人の年次決算（案）について諮られ、原案を一部修正のうえ、承認された。

### ■ 教育研究審議会

#### 【平成29年6月19日 平成29年度第1回教育研究審議会】

##### ○医学部の後期日程試験廃止に伴う入学者選抜の変更について

平成32年度入学者選抜より、現在募集定員が23名と

なっている後期日程試験を廃止すること等について原案のとおり承認された。

##### ○医学部定員の暫定増の取扱いについて

地域の医師不足に対応するため、県と協議の上、国に対し「平成31年度まで、15名分の暫定措置の延長を希望する」と回答した旨の報告が行われた。

##### ○寄附講座の設置・更新・廃止・変更について

「プログレッシブDOHaD研究講座」の設置、「災害医療支援講座」の更新、「先端核医学医療講座」の廃止並びに「医療エレクトロニクス研究講座」の寄附者の追加及び寄附金額の増額について報告が行われた。

### ■ 医学部教授会

#### 【平成29年4月19日 定例教授会】

##### ○臨床研究審査委員会委員の追加推薦について

下村健寿教授（薬理学講座）が選出され、学長に推薦された。

#### 【平成29年9月20日 定例教授会】

##### ○組換えDNA実験安全委員会委員の推薦について

下村健寿教授（薬理学講座）が選出され、学長に推薦された。

#### 【平成29年10月18日 定例教授会】

##### ○臨床手術手技研修等専門委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

- 医学部の解剖学を担当する教授又は准教授  
八木沼洋行教授（神経解剖・発生学講座）  
和栗 聡教授（解剖・組織学講座）
- 医学部生命科学・社会医学系の教授又は准教授  
永福智志教授（システム神経科学講座）  
黒田直人教授（法医学講座）
- 学部臨床医学系の教授又は准教授  
佐久間潤教授（脳神経外科学講座）  
矢吹省司教授（新医療系学部設置準備室）  
佐治重衡教授（腫瘍内科学講座）

#### 【平成29年12月20日 定例教授会】

##### ○動物実験委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

- 動物実験に関係する教授又は准教授  
千葉英樹教授（基礎病理学講座）  
浄土英一准教授（システム神経科学講座）  
井上直和准教授（細胞科学研究部門）
- 動物実験に関係しない教授又は准教授  
田中明夫准教授（人間科学講座）  
五十嵐城太郎准教授（自然科学講座）

## ■ 看護学部教授会

【平成29年12月19日 定例教授会】

### ○動物実験委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。  
太田昌一郎教授（生命科学部門）

## 雑 報

## ■ 平成29年度設置の寄附講座について

本学では、平成29年4月1日以降、下記の寄附講座を開設しました。

### ◆名 称

神経再生医療学講座

### ○設置期間

平成29年4月1日～平成32年3月31日

### ○寄附者

一般財団法人温知会 会津中央病院

### ○研究体制

講座主任 宇川 義一  
教 授 菱田 良平

### ○研究テーマ

脳出血・脳梗塞患者に対する、脂肪組織由来幹細胞による再生医療治療の開発とその作用機序の解明

### ◆名 称

先端癌免疫治療研究講座

### ○設置期間

平成29年4月1日～平成32年3月31日

### ○寄附者

テラ株式会社、他1社

### ○研究体制

講座主任・教授 大戸 齊  
特任教授 柴田 昌彦  
准 教 授 三村 耕作

### ○研究テーマ

がん免疫細胞療法を含む再生・細胞治療の臨床試験、安定供給のための技術開発、培養技術者の育成

### ◆名 称

低侵襲腫瘍制御学講座

### ○設置期間

平成29年4月1日～平成33年3月31日

### ○寄附者

一般財団法人脳神経疾患研究所

### ○研究体制

講座主任・教授 紺野 慎一  
教 授 本多 通孝  
助 手 外館 幸敏、濱田 晃市、  
山口 久志、中山祐次郎、  
河村 英恭、小林 拓史

### ○研究テーマ

消化器癌に対する集学的かつ低侵襲な治療法の開発

### ◆名 称

プログレッシブ DOHaD 研究講座

### ○設置期間

平成29年4月1日～平成32年3月31日

### ○寄附者

株式会社ライフバンクジャパン

### ○研究体制

講座主任・教授 志村 龍男  
特命教授 吉井 淳治  
准 教 授 三村 耕作

### ○研究テーマ

DOHaD (Developmental Origins of Health and Disease) の研究

編集発行 公立大学法人福島県立医科大学  
事務局企画財務課  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991